

「令和5年度第1回さいたま市立学校給食センター運営委員会」議事録

- 1 開催日時 令和6年1月11日(木) 13:30~14:30
- 2 開催場所 さいたま市立学校給食センター2階 栄養指導室
- 3 出席委員 野津吉宏会長、前山克博委員、柏哲夫委員、谷村尚子委員、
稲野邊恵美委員、菅野千香子委員、渡辺明委員、
米原大司委員、秋山千景委員、小泉千春委員、東田雅美委員
以上 11名
- 4 欠席委員 山菅正郎委員、青木龍哉委員、大戸美香委員
以上 3名
- 5 事務職員 小山敏明、池ノ内淳、星野務
以上 3名
- 6 議 事
(1) 令和5年度学校給食センターの運営について(公開)
(2) 学校給食用物資購入業者の選定について(非公開)
- 7 意見等 (1)及び(2)とも、出席者全員が承認した。質疑応答要旨は別紙のとおり

別 紙

質 疑 応 答 要 旨

委 員 給食センターからは、平皿とお椀の2食器で給食が提供され、平皿にご飯とおかずを一緒に盛られているが、それぞれのおいしさが打ち消されるように感じられる。

平皿を2枚にすることや、仕切りのある平皿に変更できるのか。

事 務 局 限られた施設面積の中では、食器を増やすのは難しいが、仕切り皿への変更は、次回食器の切り替えの際に検討する。

委 員 令和6年度の3学期の給食センターからの提供食数が、調理能力の限度とほぼ同じになるが、施設運営上支障はないか。

事 務 局 今年度改修した調理室を運用することで、適切に施設を運営していく。

委 員 児童は給食を楽しみにしている。児童にとって苦手なものもあると思うが、残食量はどうか。

事 務 局 残食については、毎回計量している。卵料理や揚げ物など人気のあるメニューでは残りは少ないが、煮物などでは残食が多くなる傾向はみられる。学校給食センターに複数いる栄養士が協力して残食が減るよう工夫している。